

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ベガサスこどもデイセンター			
○保護者評価実施期間	2024年8月10日 ～ 2024年9月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2024年8月10日 ～ 2024年9月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・看護師加配が充実しており、医療ケアに強い	・マンツーマンでの個別支援、障がいの程度や発達段階に沿った療育の提供	・専門分野との連携、多職種による支援
2	・保育士、理学療法士、作業療法士が在籍、また、法人内には言語聴覚士、公認心理士など多くの職種が在籍しており、利用者のニーズに応じた支援が行える。	・季節を感じる制作活動や遊び ・意思表示に対する支援	・視覚障がい・聴力障がいのある子どもへの療育
3	・ベガサスレスバイトケアセンター、ベガサスこどもデイセンター福泉、ベガサスこどもデイセンターの3事業所があるので、円滑な受け入れ調整が行える。		

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援プログラム、きょうだい児支援が弱い		・家族やきょうだい児が実際どのようなことで困っているのかを、把握する必要がある。その中で、デイとしてできることを考え、支援を行っていく。
2	・保護者会や地域との交流が少ない	保護者同士の交流については保護者からの希望はなく、また、発達状況や年齢も異なるため、交流自体が難しい面もある。	
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ヘカサスこどもデイセンター		公表日		2024年 10月 31日		利用児童数		12人		回収数		7人	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7												
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7												
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7												
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1				さらに危険がなく安心してご利用いただける空間づくりを行う							
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7												
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7												
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7												
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7												
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7												
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7												
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5			2	保育園に遊びに行ったようで、良い刺激になったと思います	まだ保育園の交流に参加したことがない利用児もいるため、これからも交流を続けていく							
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7												
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7												
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4		2	1		要望があれば家族も参加できる研修会や情報提供の場を検討する							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7				小さな体調の変化もこまめに伝えてくれ、安心感があります								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5			2	面談以外にも気になることや相談があれば都度電話で対応いただけて助かってます	不安があっても自ら発信できない保護者に対しても、こちらが気づき対応していきたい							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7												
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	2	3		保護者の助けとなるようなきょうだい児支援を提案したい							
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7												

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			1		マニュアルについての説明や、訓練の報告をもっと積極的に行なう必要がある
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		1		マニュアルについての説明や、訓練の報告をもっと積極的に行なう必要がある
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				（コメントはありませんが、「はい」の回答欄に◎あり）	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				配慮が行き届いていて安心しています	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ペガサスこどもデイセンター					公表日	2024年 10月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	5	重症度や医療ケアの状況に応じてベッドとプレイルームを使い分けている	活動スペースを確保するため、利用児のバギーや荷物を工夫して置く必要がある			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	看護職員を多く配置している				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	過去に介護事業所だったこともあり、あまり子ども向けではないが、代用品を使用したり安全対策を行う工夫をしている				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	業務終了後に清掃・消毒を行い、危険がないよう物の配置にも気を遣っている				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	5	死角をなくするため個別の部屋はないが、カーテンやパーテーションを活用し個人のスペースを確保している				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	スタッフ全員が常に高い意識を持っている計画は職員全員参加で話し合っている				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	改善に努めている				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	常に情報交換し、改善や対策について話し合う機会を設けている 共通認識ができています				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		第3者による評価は行っていない			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	法人内外で研修の機会が多く、職員は積極的に参加している				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	多職種と相談しながらプログラムを作成している	今年度中に公表を予定している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	保護者からの聞き取りや希望を重要視している				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	受け持ち担当者を中心に、スタッフ全員の意見を聞いたうえで作成している				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	立案した内容が実行できるよう、個人の当日のスケジュールに記載している				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	インフォーマルなアセスメントを用いて確認している				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	今年度より5領域に沿って、より細分化された具体的な支援計画が作成されている				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	多職種で連携して行っている				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	毎年度初めに、保育士を中心に活動プログラムを更新している				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	子どもの状態に合わせて、可能な限りで小集団での活動も取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	業務分担表を用いてミーティングを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	支援終了後に共有できないときは、事業所内の伝達ノートに記載するか、翌朝のミーティング時に共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	所定の記録用紙に書きおさまらない情報も、必ず別紙に記録を残すようにしている 保護者からのメモもコピーして残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	主に送迎時にモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	利用児童を担当者制にしており、担当者が連携や会議に出席している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	常に主治医と医療連携を行っている 児の関係機関を把握し、必要に応じて連絡を行う体制をとっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	併設する保育園との情報共有は密に図れている。地域の園や幼稚部とは、主に送迎時に情報交換し相互理解を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	就学に向けては家族・本人の意向を聞いたうえで、必要であれば1年前からサポートを行う	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	6	1	事業所の相談支援員を通じて連携を図っている センターが設けてくださる交流会に、積極的に参加している	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	保育園のイベントに参加させていただいたり デイのイベントに来ていただいたりしている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡ノートを通じて伝えたり、送迎時に直接会って情報共有している	
保	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		ご希望があれば、多職種連携して機会を設ける必要がある
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に行い、不明な点はいつでもご質問いただけるような関係づくりに努めている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	計画案にて意向の確認を行い、追加・修正があれば本計画に反映させている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	支援内容に関しては、状況等をイメージしやすいように家族に伝え、同じ目標を持って進めるよう努めている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	即答できないご相談に関しては、スタッフ間や専門職種と検討し、応じている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6		保護者会をあえて希望しない、のご意見もいただいております、開催は慎重に検討する きょうだい児支援は今後前向きに検討していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	2023年より、「なんでも相談室」の窓口を設置し、相談や申し入れの対応を行っている	相談窓口がフリーのメール対応なので、もっと相談しやすいよう、申込フォームを作成したい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	デイセンターだよりの発刊、法人インスタグラムへの投稿で発信している	年間や月の行事予定も発信できたらなおよい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	契約時、個人情報の取り扱いは最小限にとどめることを説明し、十分留意している 同意書に署名をいただいている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	それぞれに合った意思疎通方法を考え、計画に取り入れている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		(今年24時間テレビの放送を観てくださった近隣の方々からお声がけを下さり、たくさんの応援の声をいただいた。)
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	マニュアルを完備している 発生を想定したシミュレーションを定期的に行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	策定している 消防署同伴の訓練を年1回、自主訓練を年1回行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	常に主治医と医療連携している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	医療連携用紙（指示書）に基づき、必要であればアレルギー除去食の提供を行っている エピペンの模擬実習を行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	法人内で医療安全、感染対策についての研修が行われており、スタッフ全員が履修している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	送迎時の事故や体調の急変に関しては、家族との連携が図れるようマニュアルを完備し周知できている	災害時の避難経路や避難先についてはもっと詳しく家族に周知するべき
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	法人内全体で共有し、再発防止に取り組んでいる	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	「大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修」を受講している 法人内の人権委員会に出席している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	記載している やむをえない身体拘束については、書面にて家族の同意をいただいている	